

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2011年4月1日

91号

長雨に支流の沢山の大小の水草が、群れを成して流され、本流の長い旅へと合流して行きます。

本当によく雨が降ります。今月は降らなかった日より降った日の方が多いです。二月二十三日佐野さんが出発した後も5mm、二十四日は3mm、二十五日は5mm、二十六日今朝も小雨、と大量では有りませんが、良く降り続き、確実に午前中は道路がぬかって車が使えません。陽が照って土が乾くと豚ランドの作業や、奥地のレティロへの家畜の世話に出かけます。それにしても連日この長雨で、蚊の発生がすさまじく、特に草場や藪の中、植樹園、農場などは、現地労働者も嫌がる程に群がって襲って来ます。

私も第一植樹園の管理の為に足を踏み入れましたが、手の甲に止まる蚊を叩くと、血を吸っていた十匹位が一度に潰れます。払っても払ってもすぐやってきます。それが全身を襲い、顔はネットをかぶっています。服の上からも刺して来ますので、作業が困難でした。そうした中でも大山さんは、ネットもなしに豚ランドの整備作業等、労働者と一緒にこなしています。顔も頭も刺され続けているので、腫れることも無く労働者と共に黙々と作業を続ける姿は、何か神々しく見えます。蚊難の血（カナン）の地です。と笑っています。二人の夫人達もネットを被っています。遂に私が運転手する車の中まで蚊取り線香を焚いて、キンカンを手放せません。まだしばらくは蒸し暑さと蚊の戦いは続きそうです。（飯野記）



写真上：レティロから100hに向かう道路が水没寸前



【二人の夫人達の活躍】

青木悦子さんが一月末にレダ入りして、飯野夫人と一緒に掃除・洗濯・アイロンかけ、料理手伝いをして、三週間があつたという間に過ぎました。この間天候は絶えず雨に左右されて、降ったり止んだりの繰り返しの日々でした。

湿気と高温に加えて、大量の蚊が発生し、蚊に食われっぱなしで、青木夫人も悲鳴を上げています。人間だけでなく家畜にもびっしり蚊が張り付いて血を吸っています。蚊は中南米だけでも九〇〇種を越えるそうで、二月初めは小型の蚊が沢山いました。今は大型の蚊が増えています。「パンタナールを知ることが出来る一番良い季節に來られましたね。」と、飯野夫人に言われ、「生涯の思い出が出来感謝です。」と笑って応えています。スペイン語も話せるので、ウィルソンさんや労働者の方々との交流にも貴重で、飯野夫人も助かっています。夫が日本・韓国に行っている留守の間だけでもお手伝いできたらと、普段住んでいるアルゼンチンから駆けつけてくれました。今月一杯滞在予定です。

写真・奥地のレティロにて、仲良く青木夫人（右）と飯野夫人（左）

飯野夫人に現地の婦人達にどういう心情で対応していますか？と尋ねると

「彼女たちは娘か、孫のような気持ちです。自分は母かおばあちゃんです。強く言っても心情が有れば受け入れてくれます。叱る時もしっかり叱っても良く受け止めます。命令だけで動くものでは有りません。全てやって見せて教えています。」



早朝五時半、星月夜の暗いパラグアイ河にボートでオリンポに向かいました。
その日は水草が沢山、島になって流れている為、慎重な運転が必要でした。三時間半かかって無事到着。(写真下…ボートから見るオリンポの街が、美しく水面に映っていました。)



飯野、佐野両氏、オリンポ市市長を訪問 (2月16日)



二〇〇八年八月終わり、第八回国際協力青年奉仕隊がアルトパラグアイ市の首都オリンポ市のメイン道路の両側に植樹を行いました。
日本からは十名の学生が参加し、現地では市長はじめ教育長も参加し、市の学生がともに活動を展開し大きな成果を上げました。
ニームの苗木は高さが四十―五十cmでしたが現在、左の写真の如く四メートルに成長しております。
市の方々も成長する樹を見るたびに、地球の裏から日本の青年達が来たことに感謝を持っているとの事です。

東北関東大震災義捐金のお願い

マグニチュード9.0という未曾有の地震が起こり、東北関東地方、太平洋岸を中心に津波による想像を絶する人命の犠牲と被害が広がりました。

南北米福祉開発協会においても、被災者の方のお役に立てればと義捐金を集めたいと思いますのでよろしくお願い致します。

義捐金送り先

郵便口座 10180-77680471 代表 柴沼邦彦

または現金書留で

南北米開発協会 事務局宛て。

213-0001 神奈川県川崎市高津区溝の口3-11-15

岩崎ビル4F

第14回 ピースライフセミナーの御案内

第14回ピースライフセミナーで「自分の人生」と「世界の問題」を見つめなおしてみませんか。

新しい本来の自分を発見し、希望ある未来を実現したいと願われる皆様のピースライフセミナーへの積極的なご参加を心からお待ちしております。

☆開催日時 平成23年4月23日（土）～24日（日）

詳細は事務局にお尋ねください。



地球家族として

自然を守りましょう

南北米福祉開発協会

会員の募集中

南米、パラグアイパンタナル地域へのエコツアーならびに植林活動を通じて

生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、

世界に環境保護の大切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、パンタナル通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアー等の案内をいたします。

南北米福祉開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝の口3-11-15

岩崎ビル4F

電話

〇四四-八二九-二八二二

Fax

八二九-二八二〇

会費納入

郵便口座

一〇一八

〇一七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL

office@asd-nsa.jp

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>